

とちぎで農業する人を募集します

就農準備校

とちぎ

農業未来塾

申込
受付期間

令和5(2023)年12月4日(月)～
令和6(2024)年2月2日(金)必着

令和6年度

研修生
募集

あなたの農業がここから始まる

◆農業で夢をかなえたい人 ◆独立して農業を始めたい人 ◆農業を実践的に学びたい人

就農準備基礎研修

①木曜日コース 研修曜日：木曜日

②土曜日コース 研修曜日：土曜日

研修期間：4～1月(30日)

募集人員：各40名 受講料：15,000円

農業経営や栽培技術の基本的内容を中心とした講義、
実習、現地視察等

就農準備専門研修Ⅰコース

研修曜日：月・水・金曜日 研修期間：4～3月(100日)

募集人員：60名 いちご：20名 施設野菜：15名
露地野菜：15名 果樹：10名

受講料：50,000円

就農準備専門研修Ⅱコース(実践研修)

研修曜日：月・水・金曜日の専門研修Ⅰコースと、
火・木曜日の指導農業者による現地実習

研修期間：4～3月(180日)

募集人員：Ⅰの範囲内で5名程度

受講料：90,000円

いちご・施設野菜・露地野菜・果樹の農業経営・栽培技術の
専門的内容に関する講義、実習、現地視察等



筑波県農業大学校

令和6年度研修生募集のご案内

Uターン、Iターンなどにより、栃木県内で農業経営を始めたいと考えている方が、円滑に就農できるよう、基礎的な農業経営の知識や作物の栽培技術などを学べる研修の受講者を募集します。

受講要件

新たに栃木県内で本格的な農業経営を始めたいと考えている方。(家庭菜園や趣味の農業志向者は対象外です。)

受講申込の方法

◆受講申込みに必要な書類等

- 受講申込書：様式1
 - 就農計画書：様式2
 - 返信用封筒：2通 (定形封筒長3、宛名・住所を記入し、必ず84円切手を貼ってください。)
- ※返信用封筒は、面談通知と受講決定通知に使用します。

◆提出先

〒321-3233 宇都宮市上籠谷町1145-1 栃木県農業大学校 未来塾担当

◆受付期間 (郵送・持参)

令和5(2023)年12月4日(月)～令和6(2024)年2月2日(金) 必着

(本校に直接持参する場合は、8:30～17:15、土日、祝日及び令和5(2023)年12月29日(金)～令和6(2024)年1月3日(水)を除く) ※ファクシミリ、Eメールでの受付はいたしません。

受講者の決定

受講者は、受講申込書等の関係書類、面談によって決定します。

◆関係書類により要件に合った方は、面談日程等を通知します。申込状況によっては、日程の変更もあります。

- ◆面談日：就農準備基礎研修 木曜日コース 令和6(2024)年2月15日(木)
- 同上 土曜日コース 令和6(2024)年2月17日(土)
- 就農準備専門研修 Iコース 令和6(2024)年2月16日(金)
- 同上 IIコース(実践研修) 令和6(2024)年2月14日(水)

◆受講決定：令和6(2024)年3月上旬に本人宛てに郵送します。

なお、専門研修IIコースについては、現地実習先が決定してから、3月末までに受講の可否を通知します。
※電話等による問い合わせには応じません。



コースの構成

研修コース		研修内容	研修期間 (日数)	研修曜日	募集人員	受講料
1 就農準備 基礎研修	①木曜日コース	農業経営や栽培技術の基本的内容を 中心とした講義、実習、現地視察等	4～1月 (30日)	木曜日	40名	15,000円
	②土曜日コース			土曜日	40名	
2 就農準備 専門研修	I コース	いちご・施設野菜・ 露地野菜・果樹の農業 経営・栽培技術の専門的 内容に関する講義、実習、 現地視察等	4～3月 (100日)	月・水・金	60名 (いちご：20名 施設野菜：15名 露地野菜：15名 果樹：10名) ※IIは、上記の範囲 内で5名程度	50,000円
	II コース (実践研修)		4～3月 (180日)	月・水・金 (Iコース共通) + 火・木 (現地農家実習)		90,000円

※研修時間は原則として9:00～16:00です。

※研修日の他に、圃場・作物管理のための登校日があります。

※就農準備基礎研修の木曜日コース、土曜日コースは同じ内容です。どちらでも受講可能な場合は、受講者数に応じて調整する場合があります。

※複数コースの同時受講はできません。

※受講料の他、テキスト代、傷害保険加入料等として10,000円程度の費用が必要です。



カリキュラム

各コースとも講義と実習で構成され、

- 作物を作るために必要な基礎的知識（土壌肥料、病害虫防除等）
- 農業経営に必要な基礎的知識（農業簿記、経営管理、各種農業制度等）
- 農作物を販売するために必要な基礎的知識（マーケティング、農業の6次産業化等）

について研修します。

また、就農準備専門研修は基礎的研修に加え、作物を限定した、より専門的な知識の修得、実習を行います。

新規就農者育成総合対策(就農準備資金)への対応

「専門研修IIコース(実践研修)」受講者で、一定の要件を満たす方は、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の申請が可能です。なお、当該資金の交付を受けるためには、別途審査がありますので御留意ください。詳細は、個別に御相談ください。

新規就農者育成総合対策とは、次世代を担う農業者を目指す人(就農予定時の年齢が原則50歳未満)に、就農前の研修を支援する資金(就農準備資金)と就農直後の経営確立を支援する資金(経営開始資金)を交付する国の事業です。この内、就農準備資金は、栃木県が認める研修機関で研修を行う就農希望者で、一定の要件を満たす場合、最長2年、原則最大150万円/年を交付するものです。

※事業内容は令和5年度のものであり、今後、事業内容等が変更となる可能性があります。

とちぎ農業未来塾修了生からのメッセージ

専門研修1コース・いちご
(R4年度修了)

秋山拓也さん



私は実家がいちご農家ですが、実際の農作業を経験したことはありませんでした。いちごの栽培技術と知識を習得するため、農業振興事務所の勧めもあって、とちぎ農業未来塾を受講しました。いちごは育苗一つとっても様々な方法があり、それを知識として学ぶだけでなく、実習で実際に試すことができ良かったです。

座学では、思っていた以上に深掘りして学ぶことができ、どのような方法が自分に適しているのかなど、栽培に対する考え方を新たにすることができ、より良い栽培環境づくりへの基礎が築けました。

また、同期との情報交換や先進農家の視察研修は、自分の農場の課題発見にもつながりました。今後は未来塾で学んだことを農業経営に活かし、更に良い品質のいちご栽培に励みたいのです。

専門研修1コース・果樹
(R4年度修了)

小林崇宏さん



私の家はブドウ専業農家で、幼い頃からブドウ栽培を身近に感じて育ちました。高校卒業後は民間企業に勤めましたが、いつかは農業をやりたいとの思いが忘れられず、少しずつブドウ栽培をするようになってきた頃に、とちぎ農業未来塾を知りました。それまでは独学で勉強していましたが、より詳しく体系的に学びたいと考え、専門研修コースに入りました。

研修はとても充実した内容で、実習はもちろん、専門知識を座学でしっかり学ぶことができました。先進的経営をされている農家や就農間もない先輩農家への視察研修も良い刺激になりましたし、ブドウの他に、ナシ、リンゴ、ブルーベリーなど、他の果樹を学べる点も魅力でした。

基礎研修・木曜日コース
(R3年度修了)
専門研修1コース・露地野菜
(R4年度修了)

菅野隆弘さん



我が家の農業は、妻の父の家庭菜園から始まりましたが、継ぎ手がないため、私が農業の世界に参入しました。もともと私は神奈川県出身でIT業界の会社員をしており、文字通り畑違いの職業だったため、基本的な勉強をしたいと思います、とちぎ農業未来塾に応募しました。未来塾では同じく農業経営を目指す方々と知り合えたことが一番大きな収穫でした。仲間と交流を深めるうちに、農業に対する考え方や取り組む姿勢が徐々に変わり、専門コース修了後に就農しました。現在は、営農集団や消防団に参画して情報収集に努めています。

R5年度は妻が基礎コースを受講しており、修了後は夫婦で農業を成功させたいと思っています。将来的には、農業を学びたい方を研修生として受け入れられるような農業の未来をつなげる農家になりたいです。

基礎研修・土曜日コース
(R4年度修了)

塚越保之さん

塚越恵美子さん



私の実家は、露地野菜を中心とした農業を営んでおります。これまで社員の私たちは、土日に両親の言われた通りに、ただ農作業の手伝いをしながら、「いずれ就農するだろう」くらいに考えていました。しかし作業の中心となっていた父が体調を崩したことで、知識も技術も、何も引き継いでいなかった私は、急ぎよ、妻と相談し、とちぎ農業未来塾を申し込むことにしました。

夫婦で受講したことで、お互いの不足している部分を補い合い、就農に対する考え方も同じ方向を向くことができたので良かったです。特に現地視察では、生産者や業者、経営者など第一線で活躍している様々な方々から直接お話を聞くことができ、とても良い経験となりました。

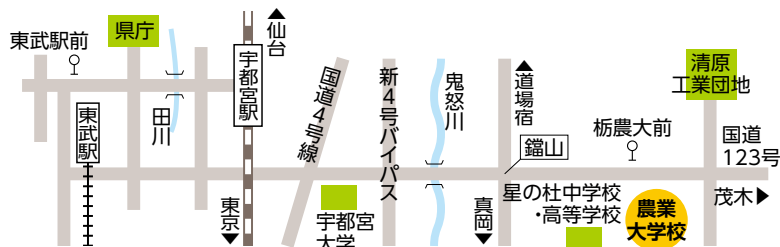
問い合わせ先

栃木県農業大学校 未来塾担当

〒321-3233 宇都宮市上籠谷町1145-1

電話 028-667-4944

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g63/>



令和6年度就農準備校「とちぎ農業未来塾」受講申込書

令和 年 月 日

顔写真を貼付
(4 × 3cm 程度)

栃木県農業大学校長 様

ふりがな
氏 名

私は「とちぎ農業未来塾」の研修を受講したいので、関係書類を添えて申込みます。

1 受講コース及び連絡先等

希望コース 【 】の中から 一つ〇で囲む	・就農準備基礎研修	【 木曜日コース ・ 土曜日コース 】		
	・就農準備専門研修	I コース	【 いちご ・ 施設野菜 ・ 露地野菜 ・ 果樹 】	
		II コース (実践研修)	【 いちご ・ 施設野菜 ・ 露地野菜 ・ 果樹 】	
住所等	郵便番号	-		
	住所 (建物名・番号まで記載)	県 市・町		
	電話番号			
	携帯電話番号			
	メールアドレス	@		
生年月日	西暦 年 月 日 (歳)	職業	現在 (申込時)	
最終学歴	<input type="checkbox"/> (農業系学校の卒業者等は <input checked="" type="checkbox"/>)		令和6年4月 (予定)	

※就農準備基礎研修は希望するコースを〇で囲んでください。どちらでも受講可能な場合は、受講者数に応じて調整する場合があります。

※就農準備専門研修はI又は、IIおよび専攻名を〇で囲んでください。

※就農準備専門研修IIコース(実践研修)受講者のうち、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の要件を満たしている者は同事業への申請が可能ですが、事業の採択には別途審査があります。なお、同事業については国の事業のため、今後、事業内容等が変更となる可能性があります。

2 受講を希望する理由

3 就農に対する家族の意向

- ① 同意を得ている ② 同意を得ていない

4 農業経験

- ① 全くない ② 家庭菜園程度の経験あり ③ 兼業農家で時々実践 ④ 専業農家で実践
⑤ 農業研修の経験あり (研修名: 期間:)

5 その他 (健康上不安なことなどがあつたら御記入願います。)

とちぎ農業未来塾の研修及び就農支援に係る「個人情報の取扱い」について

栃木県農業大学校は、受講申込書及び就農計画書の内容については、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)等に基づき適正に管理するとともに、研修及び就農支援に資するため必要に応じて市町村及び関係機関等へ提供する場合があります。

上記「個人情報の取扱い」に同意します。 氏名 _____

就 農 計 画 書

氏名 _____

1 就農予定時期 西暦 _____ 年 _____ 月 (※既に就農している者は就農した年)

2 就農予定地 (又は希望地) _____ 市・町

3 家族構成 (※同居および農業経営に参画する者)

①続柄 (年齢 _____)、②続柄 (年齢 _____)、③続柄 (年齢 _____)

④続柄 (年齢 _____)、⑤続柄 (年齢 _____)、⑥続柄 (年齢 _____)

4 農業経営等の構想 (取組作物、販売等の考え方など)

経営の規模等

区分	主な作物	面積 (㎡)	目標所得金額 (万円)	労働力
現 状				本人以外 _____ 名 (具体的な続柄等)
	計			
就農時				本人以外 _____ 名 (具体的な続柄等)
	計			
就 農 5 年後				本人以外 _____ 名 (具体的な続柄等)
	計			

5 農地・施設等の取得状況

区分	取得済	今後取得見込み・希望	方法
農地	・所在地 (_____ 市・町) ・面積 水田 (_____ ㎡) 畑 (_____ ㎡) その他 (_____ ㎡)	・所在地 (_____ 市・町) ・面積 水田 (_____ ㎡) 畑 (_____ ㎡) その他 (_____ ㎡)	・借 地 ・購 入 自己資金 各種融資 ・その他
施設 機械	・ハウス等 (_____ ㎡) ・機械類 (_____)	・ハウス等 (_____ ㎡) ・機械類 (_____)	・借りる ・購 入 自己資金 各種融資 ・その他

* 10a (1,000㎡) ÷ 1 反

6 当面の生活資金の確保 (※農業収入を得られるまでの数年間の生活資金)

有 ・ 無